参加費
無料

『ビジネス』を護る
サイバーセキュリティデイズ2026

昨今、日本国内の誰もが知る大手企業が次々と大規模なサイバー攻撃の被害に遭っています。システム停止や情報漏洩による信用失墜・巨額の損害は、「明日はわが身」という現実を突きつけています。もはやサイバー攻撃の脅威は、特定の業種や大企業だけのものではありません。

企業活動のデジタル化が加速する今、サイバーセキュリティは、事業の継続性を担保し、会社や仕事、さらには顧客の信頼を「護り続ける」ための最重要課題です。

Seminar Day（サイバーセキュリティセミナー）　定員80名

2026年2月16日(月)13:30～16:30 会場:金沢東急ホテル5Fボールルーム B(石川県金沢市香林坊2-1-1)

国内におけるサイバー攻撃の実態やその脅威から会社を護るための対策について有識者を交えて議論します。「うちは大丈夫」という思い込みが、企業の存続を脅かす最大のセキュリティリスクになり、サプライチェーンにも大きな影響を与えます。本セミナーでは、地方の中小企業の経営者や担当者の皆さまが抱える「予算がない」、「専門知識がない」、「人材がいない」といったさまざまな課題に寄り添いながら、セキュリティ対策の実例なども交え、より実践的な取組みを紹介します。

Seminar Dayお問い合わせ：総務省北陸総合通信局 情報通信部電気通信事業課 076-233-4420

Practice Day(実践的演習 Micro Hardening)　定員32名

2026年2月17日(火)13:00～18:00　会場:金沢商工会議所1Fホール(石川県金沢市尾山町9-13)

サイバーセキュリティに関心を持つ学生、企業のセキュリティ担当者などを対象にゲーム感覚でサイバー攻撃に対処する能力の向上を図るための実践的演習(Micro Hardening)を実施します。演習終了後は(国研)情報通信研究機構(NICT)の「SecHack365」の取り組みに関する講演を行います。

Micro Hardeningとは

「衛る技術の価値を最大化することを目指す」プロジェクトであるHardening Projectから生まれたサブプロジェクトで「ゲーム感覚で」サイバー攻撃に対処する能力を磨くことを目指した実践的演習です。参加者は4人で1チームとなり、45分という限られた時間のなかで、提供されたEC(electronic commerce:電子商取引)サイトに対する様々なサイバー攻撃に対処することが求められます。ECサイトで買い物を行うクローラ(買い物ロボット)が購入した金額が得点となり、さらに防いだ攻撃に応じたボーナス得点が得られ、ECサイトを安定稼働させることが高得点につながります。45分を1セットとし、3セット繰り返すことで、毎回少しずつ攻撃の状況を観測し、対処方法を試すことで、エンジニアとしての能力向上を図ります。

Practice Dayお問い合わせ：国立研究開発法人情報通信研究機構 北陸StarBED技術センター 0761-51-8118

主催:総務省北陸総合通信局、国立研究開発法人情報通信研究機構、北陸情報通信協議会
共催:経済産業省中部経済産業局、北陸経済連合会、北陸サイバーセキュリティ連絡会
協力:富山県警察本部、石川県警察本部、福井県警察本部、富山県商工会議所連合会、石川県商工会議所連合会、一般社団法人福井県商工会議所連合会、一般社団法人富山県情報産業協会、一般社団法人石川県情報システム工業会、一般社団法人福井県情報システム工業会

Seminar Day 2026年2月16日(月)

13:30～ 開会挨拶(北陸総合通信局長)

13:40～ 第一部

► 『小さな会社は狙われない』は本当か？
～地方中小企業を蝕むサイバー攻撃のリアル～

15:10～ 第二部

► あれから1年、どう変わった？
～ローコストから始めた中小企業のサイバー防戦記～

16:20～ 閉会挨拶 (NICTソーシャルイノベーションユニット長)

ファシリテーター
篠田 陽一 氏
北陸先端科学技術大学院大学
情報環境・DX統括本部
遠隔教育研究イノベーションセンター 特任教授

情報環境、ネットワーク分散システム、ソフトウェア開発環境の研究に従事。
サイバーセキュリティデイズには2018年に開催された第1回から
ファシリテーターとして参画

パネリスト
中西 克彦 氏
株式会社FFRIセキュリティ
yarai事業本部セキュリティサービス担当副本部長
国立研究開発法人情報通信研究機構
CYDER実行委員会推進委員

2015年から東京2020組織委員会に出向し、CSIRT、脅威情報分析、
政府等関連組織との連携などを担当。内閣府情報化参与、CISSP

パネリスト
川口 洋氏
株式会社川口設計 代表取締役
国立研究開発法人情報通信研究機構
CYDER実行委員会推進委員

大手セキュリティ会社にてセキュリティ監視業務等を歴任。
後に内閣サイバーセキュリティセンターに出向し、
行政機関のセキュリティインシデントの対応等に従事。CISSP、CEH

パネリスト
高江 茂 氏
NECソリューションイノベータ株式会社
第一サイバーセキュリティ統括部・第二LCMグループ
シニアプロフェッショナル

2002年度よりセキュリティ事業に従事。
セキュリティ診断、ICカードシステム開発、コンサル、サイバー演習、
インシデント対応等の事業を推進。
石川県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー

パネリスト
高 穂栞 氏
ウイルフラップ株式会社 代表取締役
エキスパート・フラップ株式会社 代表取締役

石川県内で人財総合サービス事業を展開。
主に労働者派遣および有料職業紹介、企業研修、学生就職支援に従事

Practice Day 2026年2月17日(火)

13:00～ 演習概要説明

13:30～ 実践的演習Micro Hardening

► 演習＋振り返り（1セット目／75分）
演習＋振り返り（2セット目／75分）
演習＋振り返り（3セット目／75分）
講師：（株）川口設計 代表取締役 川口 洋 氏

17:20～ 講評

17:30～ 講演

► SecHack365: クリエイティブ
×サイバーセキュリティ人材育成
講師：（国研）情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究所
ナショナルサイバートレーニングセンター
サイバートレーニング研究室
主任研究技術員 横山 輝明 氏

【参加者の皆様に準備いただく物品】

- ノートパソコンと電源アダプタ
- 上記ノートパソコンで動作するVNCクライアント
  およびSSHターミナルクライアント
  （Windowsの方はTeratermセットを推奨）

【必要スキル等】

- LinuxサーバにSSHでログインしてコマンドが打てること
- 自分のパソコンのhostsファイルを編集できること
  （管理者権限をもっていること）

SecHack365とは

”SECURITY + HACKATHON 365 DAYS”を意味する名称で、25歳以下を対象に、他にはない365日の長期ハッカソンによるモノづくりの機会を提供することで「セキュリティイノベーター」としてセキュリティの様々な課題にアイデアで切り込める人材の育成を目指す取り組み。

参加者はNICTをはじめ、大学や企業など様々な分野で活躍する研究開発・セキュリティのスペシャリストからなる専門家集団（トレーナー）の助言を得ながら、サイバーセキュリティの課題解決に資する実践的な研究・開発に取り組んでいます。

～お申込み方法～

Seminar Day 定員80名

以下の申込フォームにて必要事項を記載しお申込みください。
https://forms.office.com/r/fX9K3D5fv9

Practice Day 定員32名

以下の申込フォームにて必要事項を記載しお申込みください。
https://forms.office.com/r/K43Hvcn47X

申込締切：2026年2月10日(火)

【お問い合わせ】
Seminar Day：総務省北陸総合通信局 情報通信部電気通信事業課 076-233-4420
Practice Day：国立研究開発法人情報通信研究機構 北陸StarBED技術センター 0761-51-8118